

燦木会会員名簿

(五十音順・平成20年3月現在)

青柳 征二	浅見 洋子	天野 望	石井寅三郎	石光 眞祥	石黒 忠
伊藤かつ秋	植田 誠	植松 敏靖	海老沢 均	小川 和朗	荻原 博
荻原 育子	川上 敏夫	菊地原忠光	黒澤 街子	後藤 至彦	後藤 スエ
斉藤 哲雄	鹿倉 武久	下島 美範	鈴木 郁男	田尾 森郎	高尾 武
滝川 麗子	田邊 辰彦	田辺 攻司	玉木 克彦	鳥飼 康子	中川 彊
中野 弘	中野真理子	中道 繁幸	西岡 守彦	野上 克明	林 忠夫
伴野 文夫	樋口 節子	平野 直樹	平野富美代	船橋 国則	三橋 智
三橋 弘道	三橋 真弓	宮川 克巳	森岡 茂孝	森田 忠夫	山沢 興英
米田 博一	渡辺 博史				

燦木会規約

- 1.名称** 燦木会(さんもくかい)
- 2.目的** 会員相互の親睦を図ると共に、互いの技量の研鑽に努め、かつ清川カントリークラブの発展に寄与する共通認識により、緩やかな競技会活動を通し実践する。但し、政治的・結社の活動はこれを排する。
- 3.入会資格** 清川カントリークラブの会員・非会員を問わず、総てのゴルフを慈しみ、清川カントリークラブを愛し、エチケット・マナー・ルールをわきまえてプレーするゴルファー。
- 4.会員数** 制限はありません。会員間の協議により随意決定。
- 5.活動** 原則、月1回のコンペティションおよび競技会終了後の親睦会開催。随時清川カントリークラブ発展に寄与する活動を行う。
年会費2,000円(4月～3月)。会報発行、ホームページ維持、通信、諸雑費等。年度末会計報告。
- 6.役員** 特に人員・役職・任期を定めず、適宜総会(コンペ後親睦会)の同意により決する。
- 7.競技会** 原則として月1回、第3木曜日に競技会を行う。組数は7組程度。
- 8.参加費** 特別大会を除き、参加競技会毎に、1,000円。
- 9.競技方式** Wペリア方式によるハンディ戦。
- 11.親睦会** 競技会終了後、親睦会合を開催する。飲食は個人の自由にて発注する。会合においては競技結果発表、表彰、会運営等に関する各種討議を行う。

燦木会表彰規定

- A.表彰項目** 常設賞 ●優勝 ●準優勝 ●3位 ●ニアピン(2・6・14・16番ホール)
特別賞 1.ブービー 2.ラッキー7 3.大波 4.水平(小波) 5.ブービーメーカー他
※特別賞は上記優先順位、参加人員(参加費)により賞に入らない場合があります
- B.優先順位(同ネットの場合)** 1.男女(女性優先) 2.生年月日(年長者) 3.グロススコア(少ない者)
○各賞の賞金または賞品は1,000円を基準とする ○経費(通信事務費等)を除き、参加費は賞金として還元する
○優勝～3位までの入賞者は、特別賞受賞資格なし
- C.配分規定** ●参加者12名以内 優勝5,000円 2位2,000円 3位1,000円 ニアピン各 500円
●参加者15名未満 優勝5,000円 2位2,000円 3位1,000円 ニアピン各 1,000円
●参加者15名以上 優勝6,000円 2位3,000円 3位2,000円 ニアピン各 1,000円
●参加者21名以上 優勝8,000円 2位4,000円 3位2,000円 ニアピン各 1,000円
●参加者25名以上 優勝10,000円 2位5,000円 3位3,000円 ニアピン各 1,000円
- D.使用ティー** 基本は全員白(フロント)ティー使用※男性のバック、女性のレディスティー使用は自由。
※1パーティで3つのティー使用は避けてください。



創設・第1回燦木会総会 平成18年3月23日



1周年・第12回燦木会総会 平成19年3月15日



燦木会2周年を迎えて 燦木会顧問(前会長) 後藤至彦



燦木会の会員の皆様のお陰で、平成20年3月に早くも2周年を迎えようとしています。振り返りますと当時選挙管理委員会の一部の人達で、メンバー・ビジターの人達が自由に楽しく清川CCでゴルフプレーが出来る会を立ち上げようではないかと話が持ち上がり、何人かの方々にお声をかけさせて頂きました。始めは、多分、石井様・中川様・植松様・斉藤様・平野様の皆様方だったと思います。その後、私共の考え方に同調してくださる方々にそれぞれがお声を掛けさせていただき、平成18年3月23日に14名の有志でスタートいたしました。プレー終了後最初のミーティング。未だ会の名称・表彰規定も決まっていなかった為皆様のお知恵を拝借し、毎月第三木曜日に開催する事で日程が決り、名称も浅見様のご進言でさんもく会と決まりました。そして暫定的に世話役も決めていただいき、それが現在の人達です。また会の名称の標記も、石井様の「きらびやかなさま」を表す「燦」の文字を使い、木曜日に会員がきらびやかに輝きましょうという趣旨で、燦木会と決定しました。表彰規定も斉藤様ほかの皆さまで決定しました。お陰さまで現在の燦木会は人格・技術の面で、清川CC中で筆頭の親睦会に成長していると自負しています。中身の濃い少数精鋭主義で燦木会がいつまでも名門の会で有るように皆様のご支援をお願いいたします。

2周年燦木会を迎えて 燦木会(新)会長 石井寅三郎



早いもので2周年になります燦木会、50名と友人が一気に増え、私にとってはこの上のない大きな財産となりました。この会にご賛同を頂き素晴らしい紳士、淑女がこれほどの短期間に、一同に会したことに感心しているのは私だけではありません。会を重ね出席する度に皆さまから教えられることは多く感謝いたしています。さて、最近日本の人はどうしたのかしら、ヨーロッパ留学中の親戚の娘が1時帰国し、企業偽装問題報道の多さに驚いているようです。偽装とはこの位のことは良いのではとの安易な気持ちが当たり前になり、あの人も同じことをやっているから大丈夫、しかし大問題になり我に返る。と言う私にもこの燦木会で知らずしらず重大なミスをしてしまいました。何故ならばホールアウトすることと規則にあるのに係わらず、この位はOKとボールを拾い勝手に判断してプレーを継続した事実があります。11月燦木会にて中川彊競技委員長よりルール確認の説明があり、我に返った記憶があります。私は小学1年生(昭和20年)から大学卒業までの16年間、一貫教育の私学に学び院長である哲学者「安倍能成」の教えを受けました。院長の教えは正に単純そのもの「人間嘘をつくな、人間正直たれ」を16年間、卒業式などあらゆる行事の度にお話しされ、私が卒業した後も継続されていたと聞いています。学生、教授、事務員、用務員、ともどもあまりの変化の無い教えに閉口した記憶があります。当たり前のことと考えあまり気にも掛けませんでした。今の世相を予測する予見知識に改めて尊敬の念を覚えるものです。今年1月古希を迎えこれからも修行、皆様からお教を頂くことが多々あると思ひ、残された日々ルールを守り楽しく過ごして行きたいと思っています。